



SHIKKUI
KURUMU-SOTO

低汚染

防カビ

防藻

堅牢性

遮熱

従来の漆喰を超える 優れた機能 プロヴェンスな仕上げを可能にする

外装上塗り用漆喰

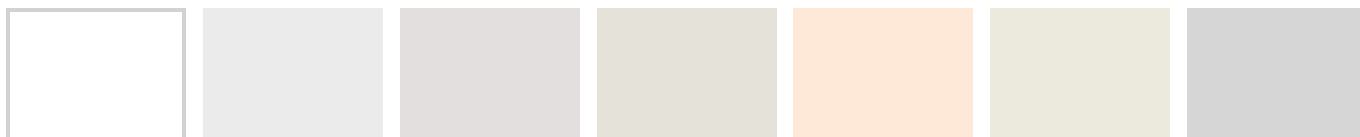
漆喰くるむ[®] 外

SHIKKUI KURUMU-SOTO



Made in Japan

カラーラインナップ



外-白
(N-93)

外-2
(17-90A)

外-3
(17-80A)

外-4
(22-85B)

外-5
(19-90C)

外-6
(29-90B)

外-7
(75-80A)

上記カラーは印刷のため、実際の色調と異なります。採用の際は、色見本帳をご確認ください。

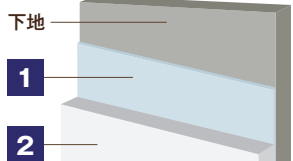
漆喰くるむ 外は自然素材のため、多少の色幅があり、施工下地・仕上げ方により色・表情が多少異なります。カラー名表示下()内の内番号は、日塗工近似色番号です。

標準仕様							
商品名	適用部位	用途	標準塗り厚	適用下地	荷姿・性状	施工面積	正味
漆喰くるむ 外	外壁・外扉	外装上塗り用漆喰	約1.5mm	モルタル・コンクリート・アクリル塗料・ウレタン塗料 アクリルリシン・セメントリシン 合成樹脂エマルション系仕上材・漆喰など	ベースト ⊕ 顔料 [※] (プラスチック缶) (ボトル缶)	約8㎡/缶	ベースト18kg

施工についての詳細は裏面と施工要領書をご確認ください。

※カラー名 外-白に顔料はつきません。

モルタル下地・コンクリート下地



1 シーラー塗布

脆弱部、レイトランス、汚れ等を入念に除去し、下地面全面にNPシーラック3倍液（NPシーラック1:2清水）を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

2 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ外 1缶に対して、所定の液体顔料 1本を入れ、ハンドミキサーで**3分以上攪拌**してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。

液体顔料との練り混ぜなし

（カラー名：外・白以外の場合）



ハンドミキサーで3分以上攪拌し、均一に混ぜる

カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対しないでください。

上塗りは、コテ圧をかけて下地に塗り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

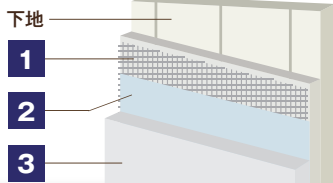
※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

3 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

無塗装サイディング板下地



1 漆喰くるむ専用ベース材練り混ぜ・塗り付け

漆喰くるむ専用ベース材に所定量の清水を混入し、ハンドミキサー（回転数1,000rpm以上）等を用いて3分以上均一に練り混ぜてください。

混練材料は加水後、夏期40分、冬期60分以内に使用し、練り足しおよび水を加えての練り直しは行わないでください。

コテ圧をかけて下地に塗り込むように塗り付けた後、追っかけて当社製の耐アルカリガラスネットを伏せ込んで塗り付け面を平滑にしてください。

上塗り工程までの養生期間 通常期12時間以上 冬期24時間以上

2 シーラー塗布

下地面全面にNPシーラック3倍液を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

3 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ外 1缶に対して、所定の液体顔料 1本を入れ、ハンドミキサーで**3分以上攪拌**してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対しないでください。

上塗りは、コテ圧をかけて下地に塗り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

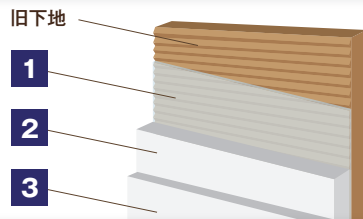
4 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

改修の場合

アクリル塗料・セメントリシン・漆喰など



1 シーラー塗布（下地の吸い込みが激しい場合）

脆弱部や汚れ、旧塗膜に浮きや剥がれがある場合は、必ず除去してください。NPシーラック3倍液（NPシーラック1:2清水）を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

2 不陸調整（下地の凹凸がある場合）

漆喰くるむ専用ベース材に所定量の清水を混入し、ハンドミキサーで良く練り混ぜてください。練り混ぜた材料を塗り付けて、下地の凹凸を平滑にしてください。

※必要に応じて当社製の耐アルカリガラスネットを併用して施工を行ってください。

上塗り工程までの養生期間 通常期翌日以降 冬期24時間以上

養生期間後、下地全面にNPシーラック3倍液を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

3 液体顔料練り混ぜ・上塗り

漆喰くるむ外 1缶に対して、所定の液体顔料 1本を入れ、ハンドミキサーで**3分以上攪拌**してください。液体顔料が均一に混ざるように、混ぜながら顔料を入れ、缶の上部から下部まで満遍なく攪拌してください。



カラーボトル内の顔料は、可能な限り使い切ってください。顔料はボトル内に付着することを想定した量が入っています。水と混ぜながらの取り出しは絶対しないでください。

上塗りは、コテ圧をかけて下地に塗り込むように塗り付けた後、水引きのタイミングをみて、仕上げ塗りを行ってください。また、必要に応じて、パターン付けを行ってください。

※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

4 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間 通常期3日以上、冬期5日以上

JIS A 6909（建築用仕上塗材）による試験結果

試験項目	単位	漆喰くるむ 外	品質基準※1
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	—	ひび割れなし	ひび割れがないこと
付着強さ	N/mm ²	2.2	0.5以上
標準養生		2.1	0.3以上
浸水後			
温冷繰り返し	—	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし 著しい変色なし	ひび割れ、剥がれ及び膨れがないこと 著しい変色がないこと
耐寒撃性	—	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれがないこと
耐アルカリ性（A法）	—	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出し 浸さない部分に比べて、 著しくもろく及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び 軟化溶出しがないこと 浸さない部分に比べて、 著しくもろく及び変色がないこと

※1：外装薄塗材Eを参考

記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

各種下地材に対する付着性

下地の種類	詳細	JIS A 6909（標準養生）	JIS A 6909（温冷繰り返し）
モルタル		付着強さ（N/mm ² ）	試験後の状態
水系アクリル塗料		2.2	付着強さ（N/mm ² ）
水系ウレタン塗料		2.9	2.2
油性塗料		2.8	1.8
溶剤系ウレタン塗料	旧JIS A 6909 複層仕上材RS適合品	2.6	1.1（油性塗料内部破壊）
エマルション系塗料	JIS A 6909 外装薄塗材E適合品	2.5	2.6
漆喰	既調合漆喰	2.6	1.4
		0.6（漆喰内部破壊）	0.2（漆喰内部破壊）

施工後、強い風を塗り付け面に直接当てると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。施工の詳細は、漆喰くるむ 外の施工要領書をご確認ください。

施工上の注意

■気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。■本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。■本製品は既調合品であるため、現場での練り混ぜ及び水を足しての練り直しは絶対に行わないでください（下地の凹凸を均すための下塗りには除く）。■施工前に必ず試し塗りを行い、パターンの付け方、仕上がり、および乾燥具合の確認を行ってください。■本製品は自然素材です。塗り方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干色差の出る場合があります。■冬期・梅雨期など、気温が低く、湿度が高い条件では白華現象が生じやすいため、シート養生など適切な処置を必ず行ってください。■極端にパターンに凹凸がある場合、また気温・温度・風などの施工環境によっては、ひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。■製造年月日を確認し、製造日から12カ月以上のものは使用しないでください。■材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上にのせ、容器を密封して凍結しない冷暗所で保管してください。

記載内容は、2021年2月1日現在のものです。改良のため予告なしに商品の仕様の一部を変更する場合があります。



日本プラスター株式会社

本社・工場 〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

東京営業所 〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

西日本営業所 〒604-8303 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032